

# 「小松商工会議所景気見通し調査」

## 結果報告書

調査期間 令和 5 年 6 月

小 松 商 工 会 議 所

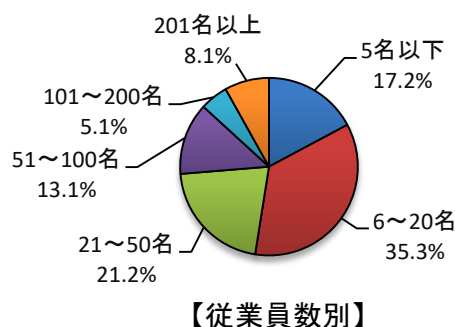
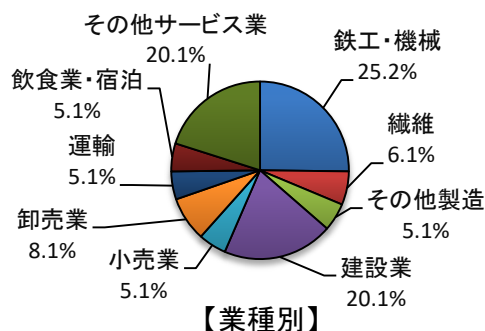
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 221社

回答企業数 99企業（回答率 44.8%）

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	合計
製造業	鉄工・機械		2	5	6	4	8	25
	繊維	1	1	3	1			6
	その他製造	1	1	1	1	1		5
建設業		2	10	7	1			20
小売業		2	1	1	1			5
卸売業		2	6					8
サービス業	運輸		2	1	2			5
	飲食業・宿泊	3	1	1				5
	その他サービス業	6	11	2	1			20
合計		17	35	21	13	5	8	99



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI値 ……DI (デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数  
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前期 ……令和4年度第4四半期(令和5年1月～3月)

今期 ……令和5年度第1四半期(令和5年4月～6月、但し6月は見込み)

来期 ……令和5年度第2四半期(令和5年7月～9月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景況感……………DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売上高……………DI値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) ……DI値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

## (1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好調	4	2	1				4	3	1	1	2	3	10	4
不変	18	19	2	4	5	5	14	13	3	3	3	3	15	22
悪化	3	4	3	2			2	4	1	1	3	2	5	4
総計	25		6		5		20		5		8		30	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

## 【今期：好転の理由】

自動車部品の復調（鉄工・機械）
コロナ禍の前に戻りつつある（繊維）
季節柄（建設業）
受注額の増加（建設業）
人口流動性の増大・ビジネス・観光や会合・集会の復活が見え始めている。但し十分ではない (小売業)
経済活動が好転。人、物の動きが活発化（卸売業）
総会シーズンで、団体予約が増えたため（飲食業・宿泊）
予約がととも増えた（飲食業・宿泊）
新型コロナウイルスが5類になったためによる（飲食業・宿泊）
利用者マインドの変化（その他サービス業）
人手不足の時、仕事が増加（その他サービス業）
ようやくコロナが落ち着き、お客様が動ける状況になってきた（その他サービス業）
公共工事受注増（その他サービス業）

## 【今期：不変の理由】

市況予測は現状維持（鉄工・機械）
比較的高止まりの安定受注（鉄工・機械）
少し落ち込み感はあるが、悪化レベルではない（鉄工・機械）
主力の観光バス生産増加（鉄工・機械）
主要顧客の生産計画に大きな変化なし（鉄工・機械）
コマツの計画による（鉄工・機械）
大きな変化なく推移（鉄工・機械）
例年の傾向をふまえて（鉄工・機械）
内示情報不変（鉄工・機械）
前期と同じ（繊維）
3月で前年度が終わり、4月からは毎年売上は減少する（その他製造）
引き続き、原材料、電力・ガス等の原燃料費高騰により製造原価は高止まり（その他製造）
売上減少（建設業）
前年比、工事受注量の変化はなし（建設業）
大きく変化はないが、受注単価は下がった（建設業）
エネルギー、副資材の高騰、働き方改革への対応分の価格転嫁が進んでいないため（建設業）
災害工事（建設業）

発注が伸びなかった（小売業）
コロナ 5 類引き下げ後も仕入れの高騰があり、変わらず（小売業）
介護保険法改正までは不変（小売業）
コロナの影響から、まだ抜けていない（卸売業）
コマツが安定している為（運輸）
前期と同様に需要がある（運輸）
大きな変化は見られない（その他サービス業）
特別、業内が変化する要因がない（その他サービス業）
コロナ禍後、お客様の動きは出てきたが、売上増には至っていない（その他サービス業）
来店客数の減少（その他サービス業）
仕入原価値上がりのため、販売価格も見直したため（その他サービス業）
公共のウェイトが高く、予算もカットされていない（その他サービス業）

**【今期：悪化の理由】**

主要取引先の操業によるもの。一部海外調達化が進む（鉄工・機械）
景気の悪いのは、まだ暫く続くと思う（鉄工・機械）
季節的に閑散期にあたる（鉄工・機械）
自動車産業はアジア全体では復調しておらず、そのため部品メーカーからの発注も低迷している (繊維)
海外景気低迷に伴う輸出生地の減少（繊維）
手数料減少（小売業）
豚価の高止まり（卸売業）
欧米の購買意欲の低下（卸売業）
4 月以降物量が減った（運輸）
物流がかなり減った（運輸）
歓送迎会等、大口の減少（飲食業・宿泊）
需要の停滞、売上の減少（その他サービス業）

**【来期：好転の理由】**

季節柄（建設業）
前期同様の状態が継続すると思われる（小売業）
デフレ経済からインフレ経済への過渡期（卸売業）
利用者マインドの更なる変化（その他サービス業）
来期も続くと思う（その他サービス業）
ようやくコロナが落ち着き、お客様が動ける状況になってきた（その他サービス業）
人の交流が本格化している（その他サービス業）

**【来期：不変の理由】**

主要取引の操業によるもの。海外調達比率がより大きくなる（鉄工・機械）
少しは回復してくるのではと期待している（鉄工・機械）
多少の受注落ち込みあり（鉄工・機械）

主力の観光バス生産減少（鉄工・機械）
顧客の内示より（鉄工・機械）
コマツの計画による（鉄工・機械）
主要顧客の生産計画予測に大きな変化がない見込み（鉄工・機械）
例年の傾向を踏まえて（鉄工・機械）
市況予測は現状維持（鉄工・機械）
今期と同じくらいの見通し（鉄工・機械）
希望的観測（繊維）
7-9月も4-6月から好転する材料は見当たらない。自動車や電線関連はまたしても生産調整局面にはいる見通し（繊維）
建物の建築件数が少なくなってきた（その他製造）
原材料、原燃料費の高止まり傾向が継続する見込み（その他製造）
前年比、工事受注量の変化はなし（建設業）
現状維持水準にて推移（建設業）
エネルギー、副資材の高騰、働き方改革への対応分の価格転嫁が進んでいないため（建設業）
災害工事（建設業）
顧客減少(高齢化)になってきた（小売業）
激変緩和措置の今後が不透明（小売業）
介護保険法改正までは不変（小売業）
豚価の高騰が続くと思われる（卸売業）
人手不足（卸売業）
良い情報がない（運輸）
コマツが安定している為（運輸）
今期同様にある（運輸）
このままコロナ再流行もなく行ってほしい（飲食業・宿泊）
物価上昇（飲食業・宿泊）
まだ余り予約数のがのびていない（飲食業・宿泊）
特別業内が変化する要因がない（その他サービス業）
特に大きな変動がないと予想されるため（その他サービス業）
物価高、先行き不安が強いため（その他サービス業）
公共のウェイトが高く、予算もカットされていない（その他サービス業）
見通しが立たない（その他サービス業）

**【来期：悪化の理由】**

調整期間に入る情報など（鉄工・機械）
海外の景気低迷の継続（繊維）
非常に厳しい（建設業）
手数料減少（小売業）
欧米の購買意欲の低下、生産過剰（卸売業）
このまま回復しないと予想している（運輸）
閑散期に入るため（飲食業・宿泊）

## (1)-2 DI値

(単位:DI)

		前期	今期	来期
製造業	鉄工・機械	▲ 22.2	4.0	▲ 8.0
	繊維	▲ 14.3	▲ 33.3	▲ 33.3
	その他製造	▲ 14.3	0.0	0.0
	製造計	▲ 19.5	▲ 2.8	▲ 11.1
非製造業	建設業	9.5	10.0	▲ 5.0
	小売業	▲ 14.3	0.0	0.0
	卸売業	37.5	▲ 12.5	12.5
	サービス業(運輸含む)	13.5	16.7	0.0
	非製造計	12.3	9.5	0.0
全 体		0.9	5.1	▲ 4.0
改善予測		▲ 3.6	▲ 9.1	—

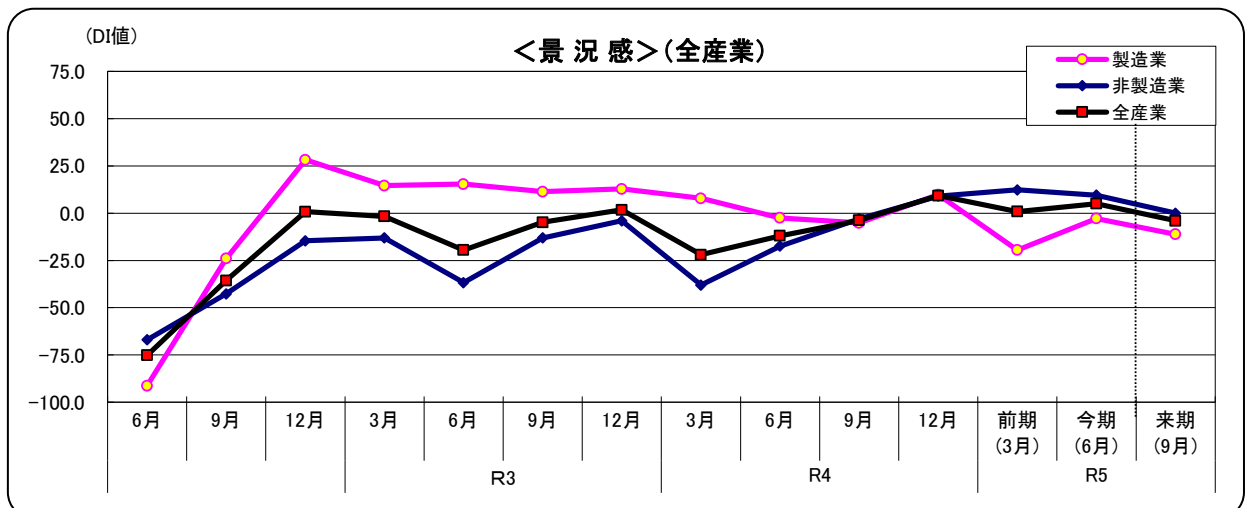
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

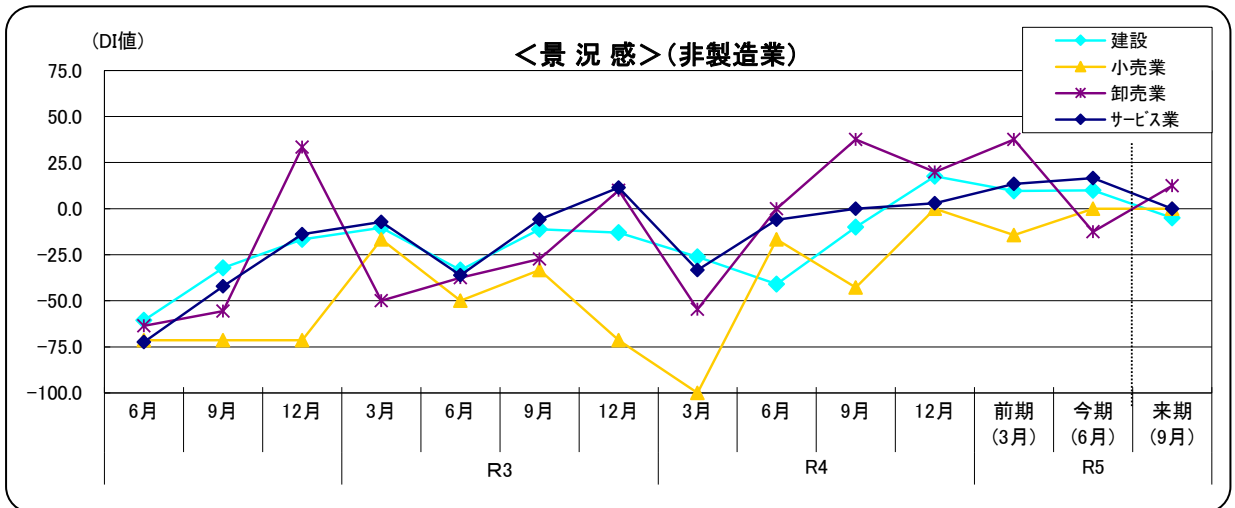
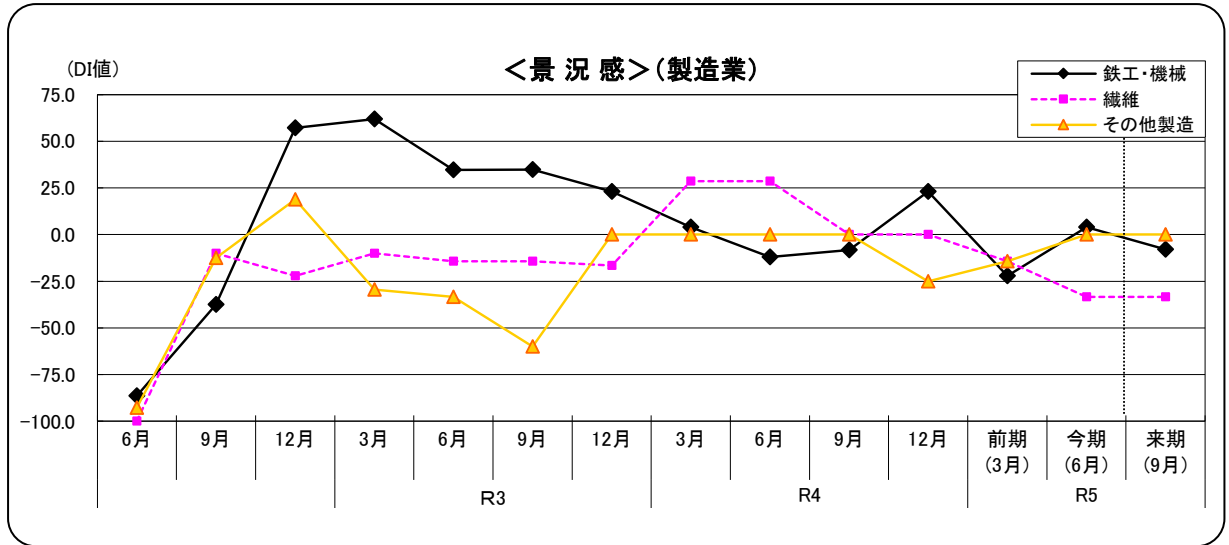
製造業においては、前期 ▲22.2 ポイントと大きく下降していた鉄工・機械が、今期 4.0 ポイントと持ち直してきたが、来期は ▲8.0 とまた下降する見通しである。繊維は、前期 ▲14.3 ポイントから、今期 ▲33.3 と更に下降し、来期も ▲33.3 と厳しい状態が続く見通しである。その他製造は、前期 ▲14.3 ポイントから今期・来期ともに 0.0 ポイントと、改善傾向がみられる。非製造業においては、建設業が、前期 9.5 ポイント、今期 10.0 ポイントと好調だったが、来期は ▲5.0 ポイントと下降する見通しである。小売業は、前期 ▲14.3 ポイント、今期・来期共に 0.0 ポイントと改善傾向がみられる。卸売業は、前期 37.5 ポイント、今期 ▲12.5 ポイントと大きく下降したが、来期 12.5 ポイントと持ち直す見通しである。サービス業は、前期 13.5 ポイント、今期 16.7 ポイントと好調だったが、来期 0.0 ポイントと鈍化する見通しである。

全体では、前期 0.9 ポイント、今期 5.1 ポイントと緩やかに上昇したが、来期 ▲4.0 ポイントと下降し、少し落ち込み感がある。

5月よりコロナが2類から5類へ移行され、押し上げ効果もあり、小売業や飲食業・宿泊等を含むサービス業に明るい兆しが見えてきた。その一方、エネルギー・原材料の高騰、賃金の上昇等を十分に価格転嫁できず、収益力が低下している状態が続いている。また人手不足も深刻で、対応に苦慮している。

## (1)-3 年次別の推移





※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(単位:DI)

区分	今期(R5.6)			来期(R5.9)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	▲ 2.8	2	▲ 1	▼ ▲ 11.1	▼ 1	▼ ▲ 2	36社
非製造業	9.5	8	14	▼ 0.0	▼ 5	▼ 10	63社
全体	5.1	5	8	▼ ▲ 4.0	▼ 4	▼ 7	99社

(1)－(5) 景況感、売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(令和5年度第1四半期)の状況

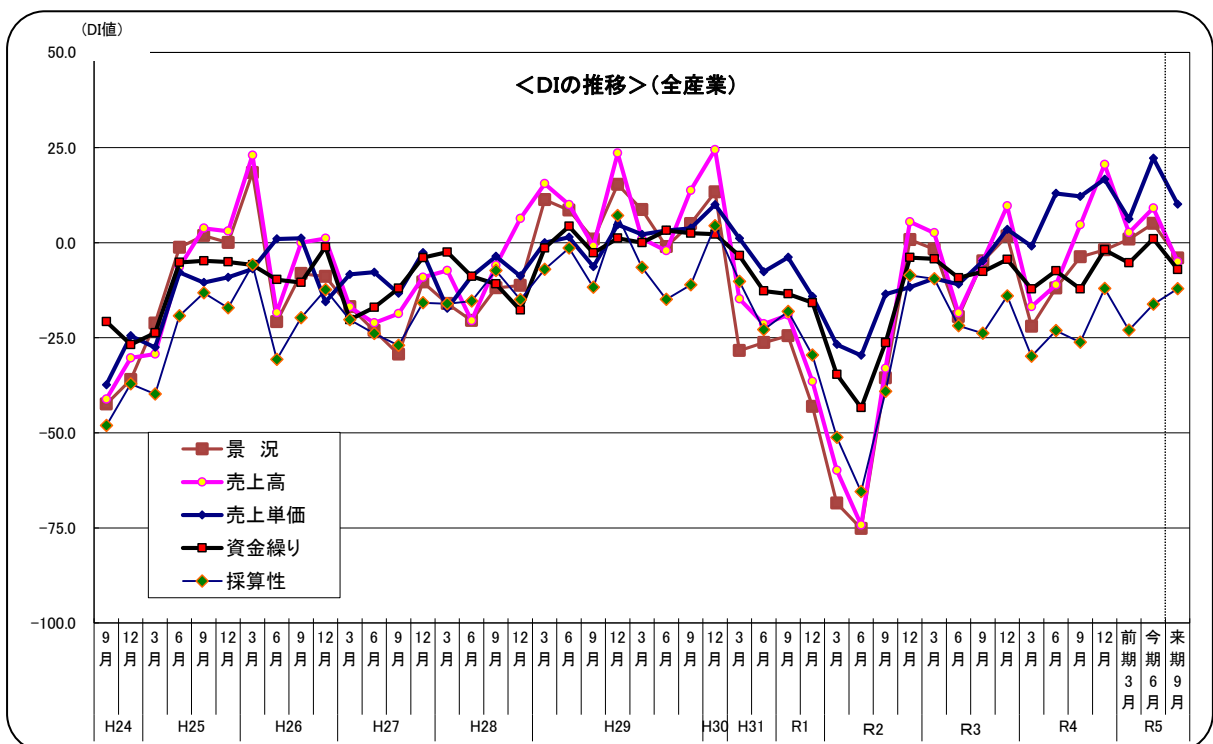
(単位:DI)

	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	4.0	16.0	32.0	0.0	▲ 4.0
繊維	▲ 33.3	16.7	66.7	0.0	▲ 16.7
その他製造	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
建設業	10.0	5.0	5.0	10.0	▲ 20.0
小売業	0.0	20.0	20.0	▲ 40.0	▲ 60.0
卸売業	▲ 12.5	▲ 25.0	50.0	0.0	▲ 37.5
サービス業(運輸含む)	16.7	13.3	10.0	0.0	▲ 13.3
全体	5.1	9.1	22.2	1.0	▲ 16.2

来期(令和5年度第2四半期)の見通

(単位:DI)

業種	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	▲ 8.0	▲ 8.0	0.0	▲ 16.0	▲ 8.0
繊維	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3
その他製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	▲ 5.0	▲ 15.0	10.0	5.0	▲ 25.0
小売業	0.0	20.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0
卸売業	12.5	0.0	75.0	0.0	12.5
サービス業(運輸含む)	0.0	0.0	3.3	▲ 3.3	▲ 6.7
全体	▲ 4.0	▲ 5.1	10.1	▲ 7.1	▲ 12.1
改善予測(今回)	▲ 9.1	▲ 14.2	▲ 12.1	▲ 8.1	4.1
改善予測(R5.3)	▲ 3.6	▲ 3.5	6.2	▲ 2.7	2.6
改善予測(R4.12)	▲ 18.6	▲ 24.3	▲ 15.8	▲ 8.4	▲ 6.5

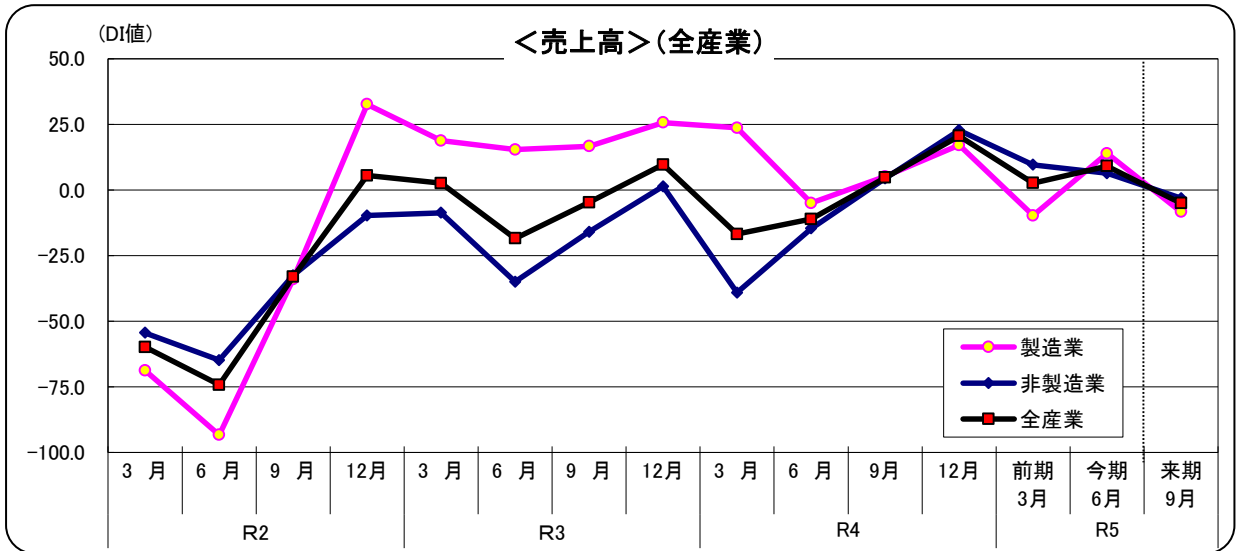




2) 売上高

(単位: DI)

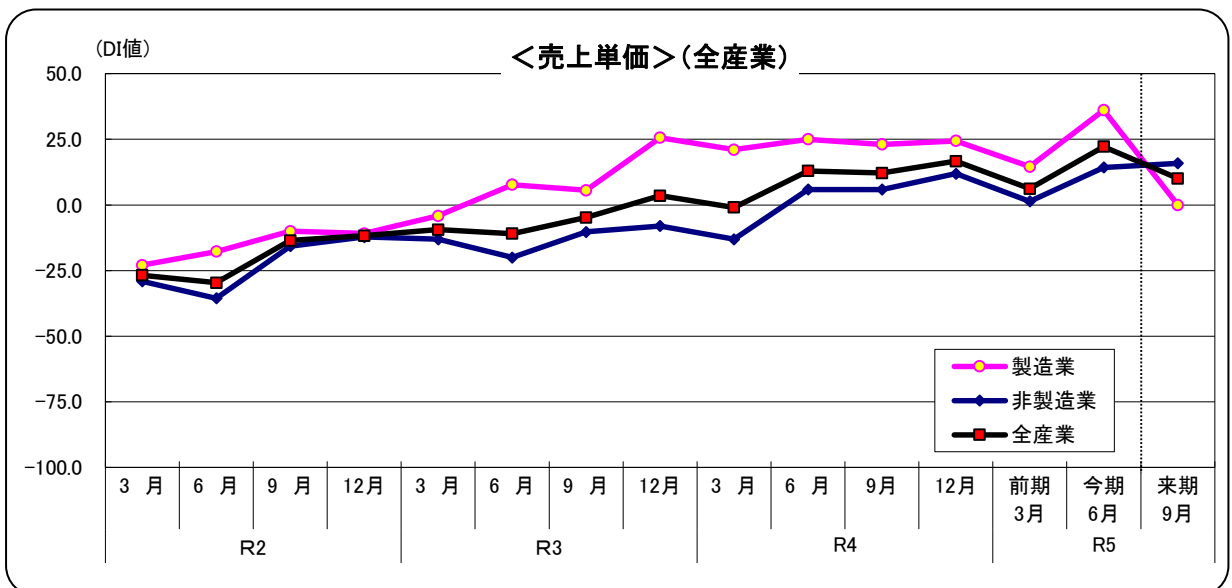
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 8.0	▲ 16.7	0.0	▲ 8.3	▲ 15.0	20.0	0.0	0.0	▲ 3.2	▲ 5.1
今期	16.0	16.7	0.0	13.9	5.0	20.0	▲ 25.0	13.3	6.3	9.1
前期	▲ 11.1	▲ 14.3	0.0	▲ 9.8	0.0	▲ 28.6	25.0	18.9	9.6	2.6



(3) 売上単価

(単位: DI)

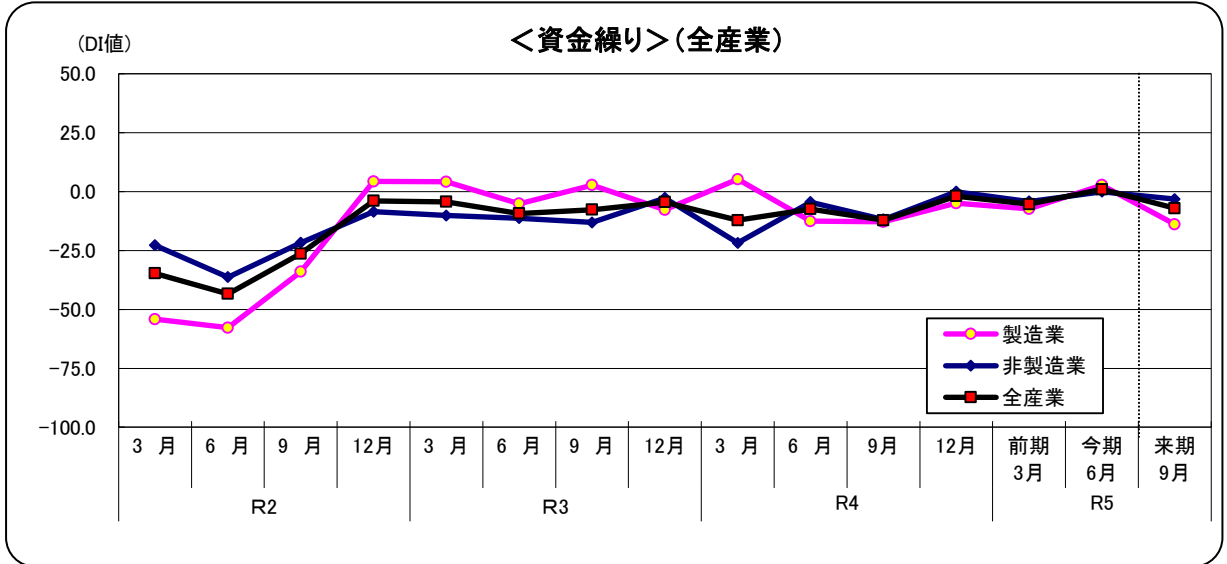
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	75.0	3.3	15.9	10.1
今期	32.0	66.7	20.0	36.1	5.0	20.0	50.0	10.0	14.3	22.2
前期	7.4	28.6	28.6	14.6	▲ 9.5	28.6	25.0	▲ 2.8	1.4	6.2



(4) 資金繰り

(単位:DI)

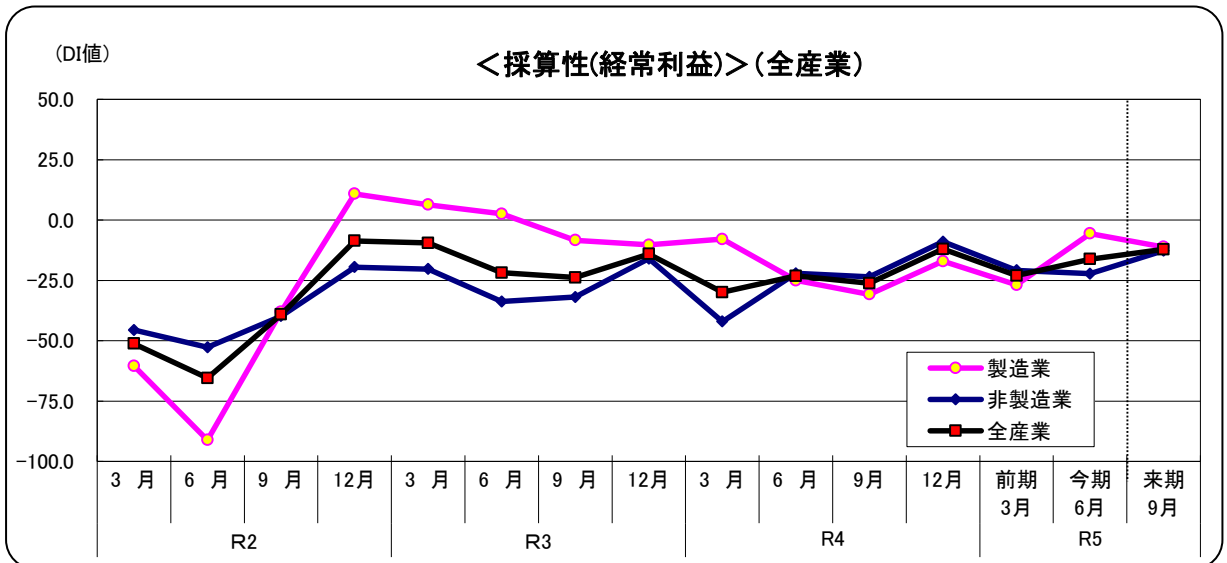
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 16.0	▲ 16.7	0.0	▲ 13.9	5.0	▲ 40.0	0.0	▲ 3.3	▲ 3.2	▲ 7.1
今期	0.0	0.0	20.0	2.8	10.0	▲ 40.0	0.0	0.0	0.0	1.0
前期	▲ 3.7	▲ 28.6	0.0	▲ 7.3	4.8	0.0	0.0	▲ 11.1	▲ 4.2	▲ 5.3



(5) 採算性(経常利益)

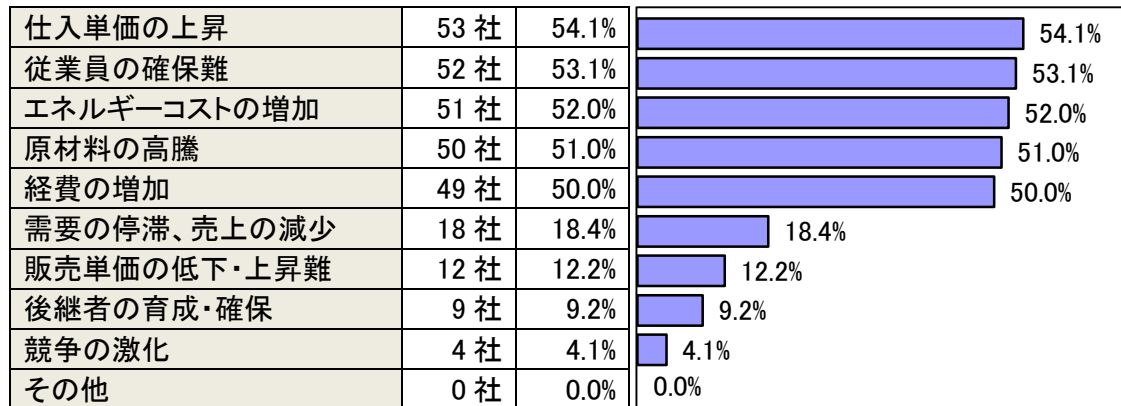
(単位:DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 8.0	▲ 33.3	0.0	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 40.0	12.5	▲ 6.7	▲ 12.7	▲ 12.1
今期	▲ 4.0	▲ 16.7	0.0	▲ 5.6	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 37.5	▲ 13.3	▲ 22.2	▲ 16.2
前期	▲ 14.8	▲ 71.4	▲ 28.6	▲ 26.8	▲ 23.8	▲ 28.6	▲ 37.5	▲ 13.9	▲ 20.8	▲ 23.0



今期(第1四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=98)



	鉄工・機械 (n=24)	繊維 (n=6)	その他製造 (n=5)	建設業 (n=20)	小売業 (n=5)	卸売業 (n=8)	サービス業 (n=30)
仕入単価の上昇	45.8%	83.3%	40.0%	60.0%	80.0%	75.0%	43.3%
従業員の確保難	70.8%	33.3%	60.0%	60.0%	20.0%	37.5%	46.7%
エネルギーコストの増加	54.2%	66.7%	40.0%	50.0%	40.0%	50.0%	53.3%
原材料の高騰	41.7%	50.0%	60.0%	55.0%	40.0%	62.5%	53.3%
経費の増加	50.0%	83.3%	40.0%	60.0%	40.0%	62.5%	36.7%
需要の停滞、売上の減少	20.8%	16.7%	0.0%	15.0%	12.5%	37.5%	16.7%
販売単価の低下・上昇難	8.3%	16.7%	0.0%	15.0%	20.0%	12.5%	13.3%
後継者の育成・確保	4.2%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%
競争の激化	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	3.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q具体的な問題点や対応策

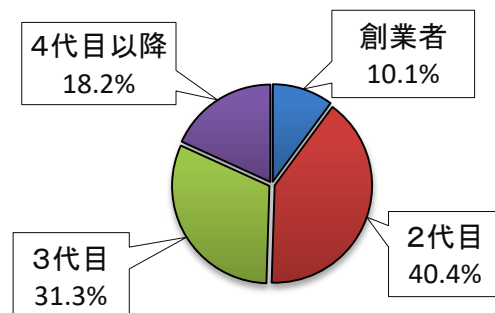
従業員の確保が出来ていない。主要取引先の取引先として海外部門が増えてきている。その反映として受注数減となっている(鉄工・機械)
従業員の高齢化に対する人員確保(鉄工・機械)
直接工の人材難(鉄工・機械)
戦力になる作業者の確保が困難(鉄工・機械)
客先に価格転嫁を依頼する(鉄工・機械)
コスト増に対して作業の効率化を図る(鉄工・機械)
エネルギーコスト増の販売価格への転嫁、採用活動の継続(鉄工・機械)
人手不足(繊維)
売上が低迷しているので、経費削減を一層推し進めている(繊維)
売上確保にプラスして、全てのモノの値上がりで、付加価値、小ロットのみでは対応不可になった。独自化の商品で量の出るものも開発し売上を確保する(繊維)
サステナブル新規系の開発(繊維)
助成金活用、原価管理、下請け(一人親方)依頼(建設業)
建設業で人材を募集しても、なかなか入ってこない(建設業)
エネルギー・原材料の高騰の価格転嫁が困難(小売業)

仕入価格の高騰（小売業）
再構築必要（小売業）
需要に関わらない豚価の高騰が続いている（卸売業）
仕入価格は上昇するが、価格に転嫁できない（運輸）
物価が上昇している（飲食業・宿泊）
仕入価格の上昇に比べて、販価の改善が難しい（その他サービス業）
不動産売買価格が下がっている（その他サービス業）
求人広告を出しているが、他の対策は特にしていない（その他サービス業）
特になし

### 事業承継の現状について

#### 【設問1】現経営者は何代目かについて（n=99）

1	創業者	10社	10.1%
2	2代目	40社	40.4%
3	3代目	31社	31.3%
4	4代目以降	18社	18.2%



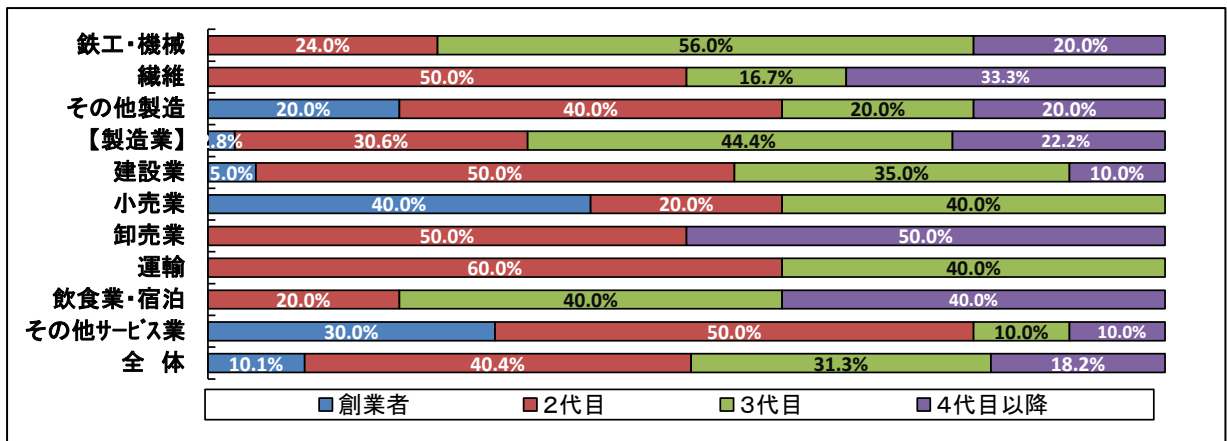
現経営者が何代目か、一番割合の高いのは、2代目で40.4%、次いで3代目で31.3%であった。

業種別でみると、2代目では、運輸60.0%、繊維・建設業・卸売業・その他サービス業がそれぞれ50.0%、3代目では、鉄工・機械56.0%、4代目以降では、卸売業50.0%、飲食業・宿泊40.0%と高かった。

従業員数別では、201名以上が、創業者や2代目がおらず、3代目75.0%、4代目以降25.0%であった。

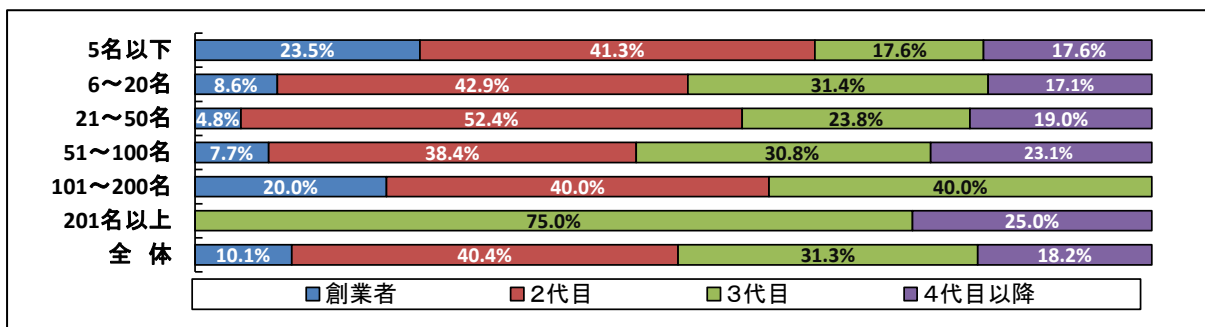
#### 【業種別】

業種	創業者	2代目	3代目	4代目以降
鉄工・機械		24.0%	56.0%	20.0%
繊維		50.0%	16.7%	33.3%
その他製造	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%
【製造業】	2.8%	30.6%	44.4%	22.2%
建設業	5.0%	50.0%	35.0%	10.0%
小売業	40.0%	20.0%	40.0%	
卸売業		50.0%		50.0%
運輸		60.0%	40.0%	
飲食業・宿泊		20.0%	40.0%	40.0%
その他サービス業	30.0%	50.0%	10.0%	10.0%
全体	10.1%	40.4%	31.3%	18.2%



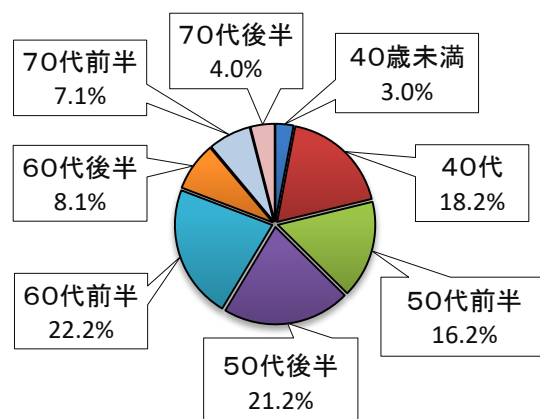
【従業員数別】

従業員数	創業者	2代目	3代目	4代目以降
5名以下	23.5%	41.3%	17.6%	17.6%
6～20名	8.6%	42.9%	31.4%	17.1%
21～50名	4.8%	52.4%	23.8%	19.0%
51～100名	7.7%	38.4%	30.8%	23.1%
101～200名	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
201名以上	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%
全体	10.1%	40.4%	31.3%	18.2%



【設問2】 現経営者の現在の年齢について (n=99)

年齢	社数	割合
1 40歳未満	3社	3.0%
2 40代	18社	18.2%
3 50代前半	16社	16.2%
4 50代後半	21社	21.2%
5 60代前半	22社	22.2%
6 60代後半	8社	8.1%
7 70代前半	7社	7.1%
8 70代後半	4社	4.0%
9 80代以上	0社	0.0%



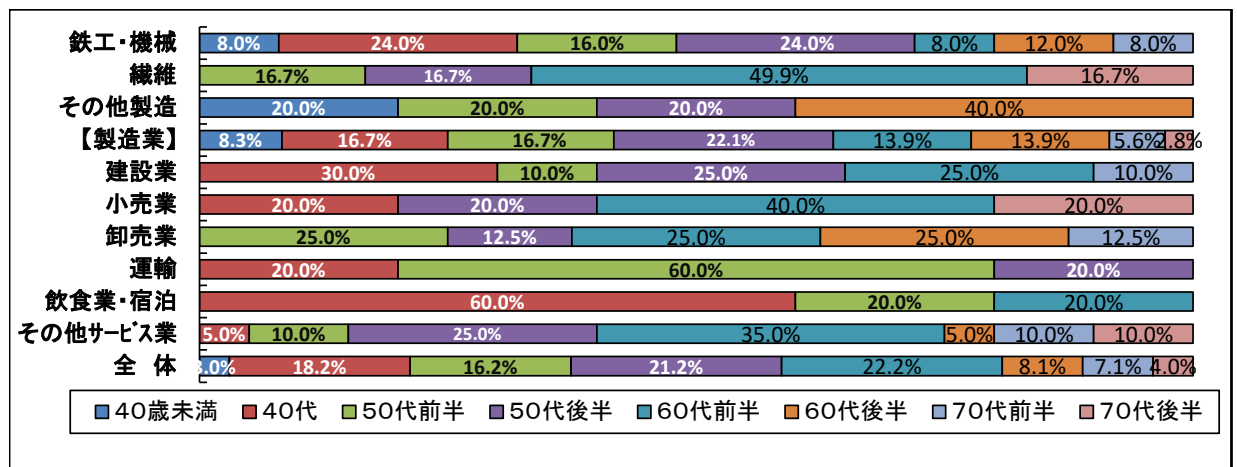
現経営者の現在の年齢は、全体で割合の高い順に、60代前半が22.2%、次いで50代後半が21.2%あった。

業種別では、繊維が60代前半49.9%、運輸が50代前半60.0%、飲食業・宿泊が40代60.0%と割合が高かった。70代後半の現経営者は、繊維16.7%、小売業20.0%、その他サービス業10.0%あった。

従業員数別でみると、101名以上では、70代以上の現経営者はいなかった。

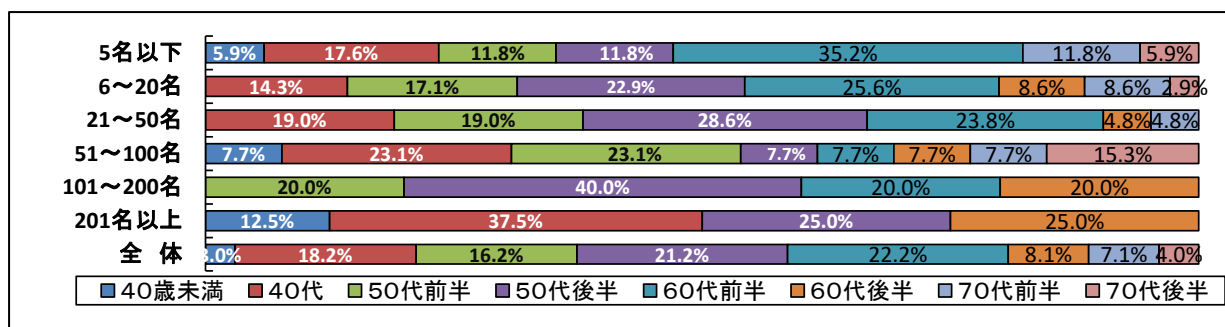
【業種別】

業種	1	2	3	4	5	6	7	8	9
鉄工・機械	8.0%	24.0%	16.0%	24.0%	8.0%	12.0%	8.0%		
繊維			16.7%	16.7%	49.9%			16.7%	
その他製造	20.0%		20.0%	20.0%		40.0%			
【製造業】	8.3%	16.7%	16.7%	22.1%	13.9%	13.9%	5.6%	2.8%	
建設業		30.0%	10.0%	25.0%	25.0%		10.0%		
小売業		20.0%		20.0%	40.0%			20.0%	
卸売業			25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%		
運輸		20.0%	60.0%	20.0%					
飲食業・宿泊		60.0%	20.0%		20.0%				
その他サービス業		5.0%	10.0%	25.0%	35.0%	5.0%	10.0%	10.0%	
全体	3.0%	18.2%	16.2%	21.2%	22.2%	8.1%	7.1%	4.0%	0.0%



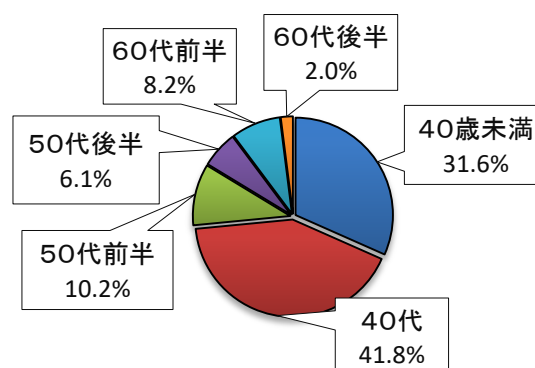
【従業員数別】

従業員数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5名以下	5.9%	17.6%	11.8%	11.8%	35.2%		11.8%	5.9%	
6～20名		14.3%	17.1%	22.9%	25.6%	8.6%	8.6%	2.9%	
21～50名		19.0%	19.0%	28.6%	23.8%	4.8%	4.8%		
51～100名	7.7%	23.1%	23.1%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	15.3%	
101～200名			20.0%	40.0%	20.0%	20.0%			
201名以上	12.5%	37.5%		25.0%		25.0%			
全体	3.0%	18.2%	16.2%	21.2%	22.2%	8.1%	7.1%	4.0%	0.0%



【設問3】経営者になった(創業した)年齢について (n=98)

1	40歳未満	31社	31.6%
2	40代	41社	41.8%
3	50代前半	10社	10.2%
4	50代後半	6社	6.1%
5	60代前半	8社	8.2%
6	60代後半	2社	2.0%
7	70代前半	0社	0.0%
8	70代後半	0社	0.0%
9	80代以上	0社	0.0%



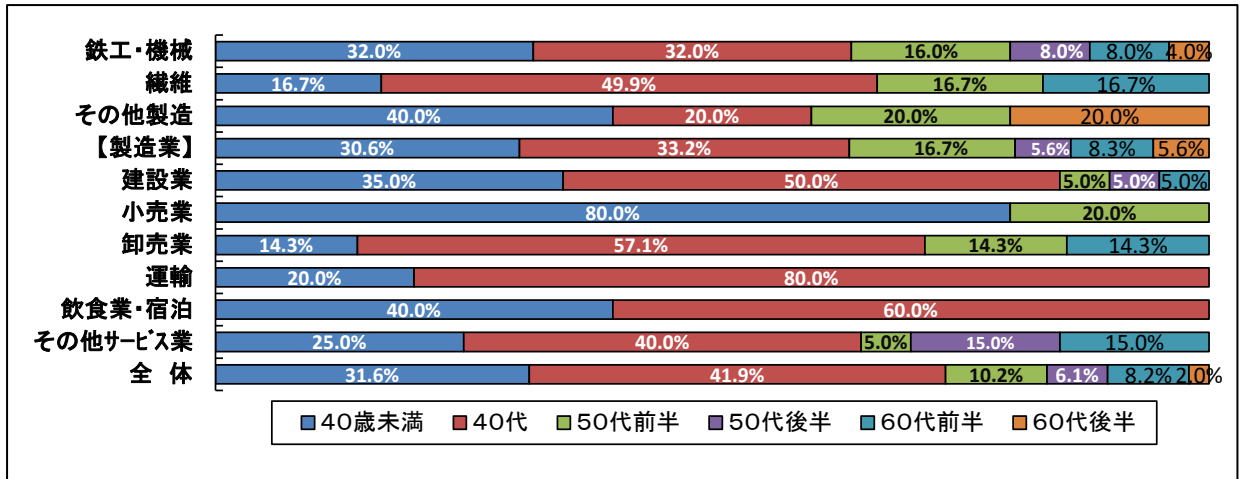
経営者になった(創業した)年齢は、全体で割合の高い順に、40代 41.8%、次いで40歳未満 31.6%であった。70代以上は、いなかった。

業種別では、小売業の40歳未満 80.0%、運輸の40代 80.0%、飲食業・宿泊の40代 60.0%が高かった。

従業員数別では、規模の小さい企業の方が、比較的に経営者になった(創業した)年齢が若い傾向にあった。

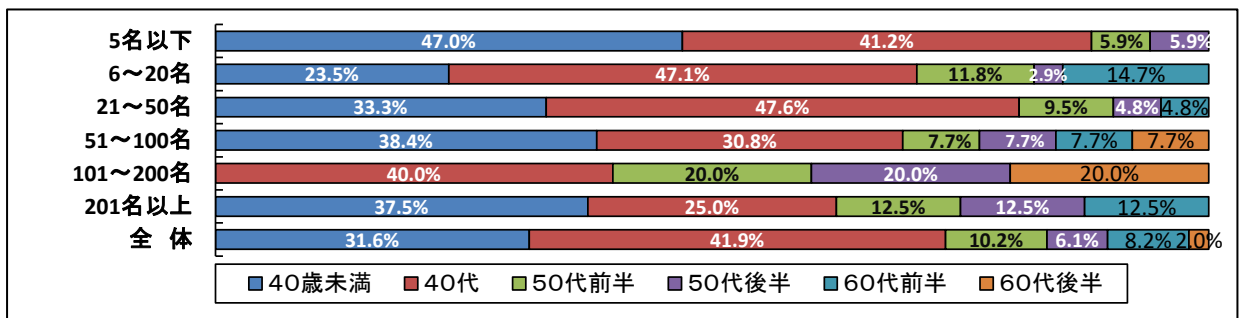
【業種別】

業種	1	2	3	4	5	6	7	8	9
鉄工・機械	32.0%	32.0%	16.0%	8.0%	8.0%	4.0%			
繊維	16.7%	49.9%	16.7%		16.7%				
その他製造	40.0%	20.0%	20.0%			20.0%			
【製造業】	30.6%	33.2%	16.7%	5.6%	8.3%	5.6%			
建設業	35.0%	50.0%	5.0%	5.0%	5.0%				
小売業	80.0%		20.0%						
卸売業	14.3%	57.1%	14.3%		14.3%				
運輸	20.0%	80.0%							
飲食業・宿泊	40.0%	60.0%							
その他サービス業	25.0%	40.0%	5.0%	15.0%	15.0%				
全体	31.6%	41.9%	10.2%	6.1%	8.2%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%



### 【従業員数別】

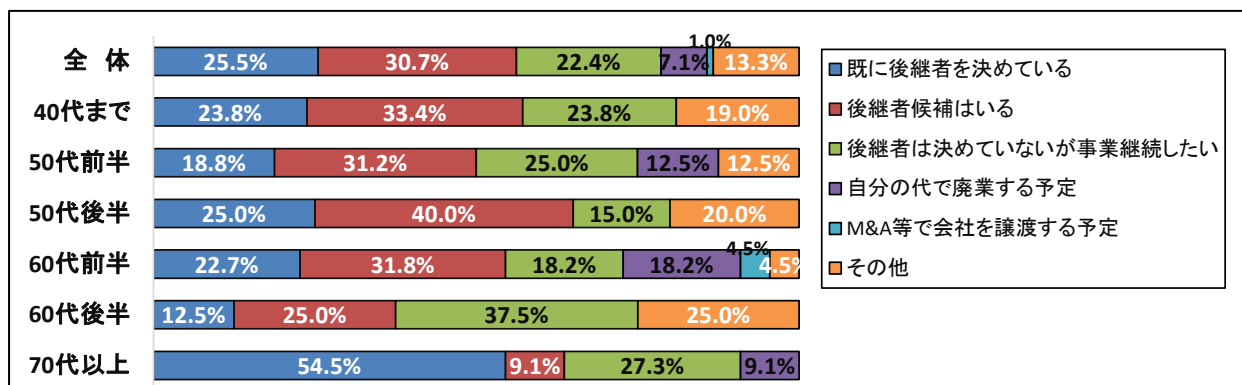
従業員数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5名以下	47.0%	41.2%	5.9%	5.9%					
6～20名	23.5%	47.1%	11.8%	2.9%	14.7%				
21～50名	33.3%	47.6%	9.5%	4.8%	4.8%				
51～100名	38.4%	30.8%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%			
101～200名		40.0%	20.0%	20.0%		20.0%			
201名以上	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%				
全体	31.6%	41.9%	10.2%	6.1%	8.2%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%



### 【設問4】後継者の決定状況について (n=98)

	全体		現経営者の現在の年齢					
			40代まで	50代前半	50代後半	60代前半	60代後半	70代以上
1 既に後継者を決めている	25社	25.5%	23.8%	18.8%	25.0%	22.7%	12.5%	54.5%
2 後継者候補はいる	30社	30.7%	33.4%	31.2%	40.0%	31.8%	25.0%	9.1%
3 後継者は決めていないが事業継続したい	22社	22.4%	23.8%	25.0%	15.0%	18.2%	37.5%	27.3%
4 自分の代で廃業する予定	7社	7.1%		12.5%		18.2%		9.1%
5 M&A等で会社を譲渡する予定	1社	1.0%				4.5%		
6 その他	13社	13.3%	19.0%	12.5%	20.0%	4.5%	25.0%	





### ※その他

企業グループの中で決定（鉄工・機械）
定期的に変化（鉄工・機械）
現在、投資会社が経営（その他製造）
すべて白紙（卸売業）
特に先行きの不透明な業種である（小売業）
未定・わからない

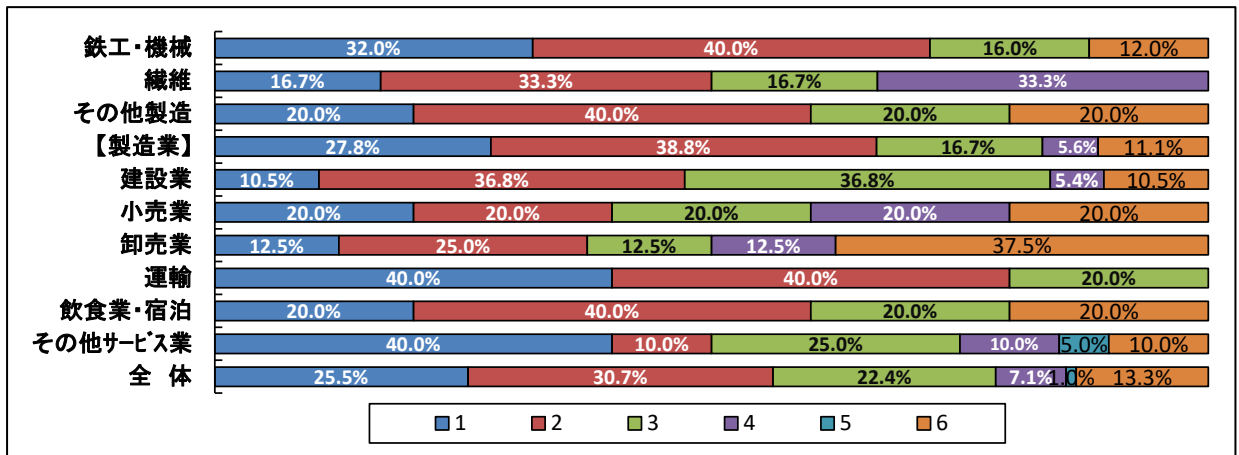
後継者の決定状況について、「既に後継者を決めている」25.5%、「後継者候補はいる」30.7%、合わせて、56.2%あった。

一方「後継者は決めていないが事業継続したい」が22.4%あり、年代別でみると、60代後半が37.5%、70代以上が27.3%と割合が高く、年齢的にも大きなリスクを抱えている。業種別では、建設業が36.8%、従業員数別では、6～20名が38.3%の割合が高かった。

事業継承に係る準備等を考え、早めに始めている企業もみられた。

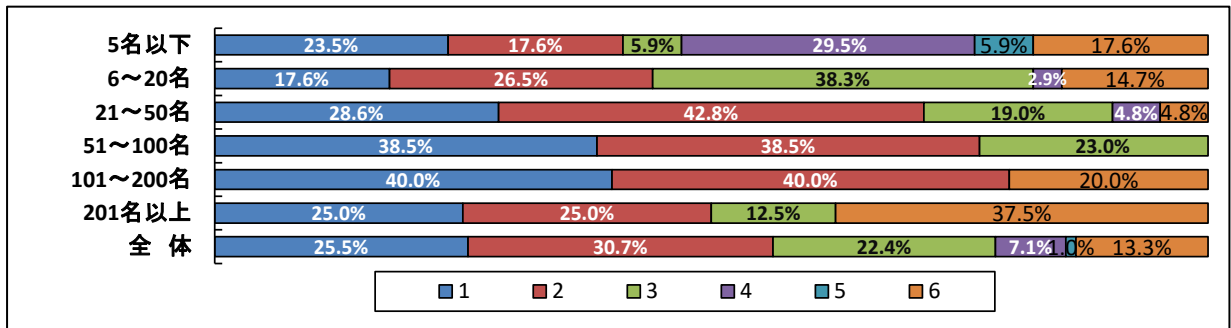
### 【業種別】

業種	1	2	3	4	5	6
鉄工・機械	32.0%	40.0%	16.0%			12.0%
繊維	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%		
その他製造	20.0%	40.0%	20.0%			20.0%
【製造業】	27.8%	38.8%	16.7%	5.6%		11.1%
建設業	10.5%	36.8%	36.8%	5.4%		10.5%
小売業	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%		20.0%
卸売業	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%		37.5%
運輸	40.0%	40.0%	20.0%			
飲食業・宿泊	20.0%	40.0%	20.0%			20.0%
その他サービス業	40.0%	10.0%	25.0%	10.0%	5.0%	10.0%
全体	25.5%	30.7%	22.4%	7.1%	1.0%	13.3%



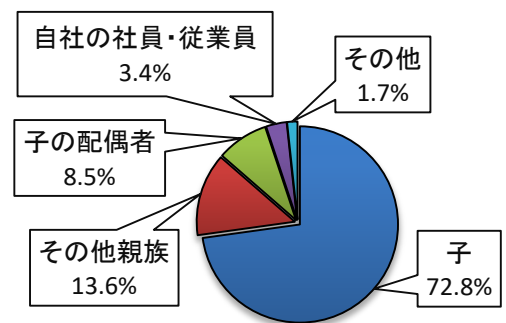
【従業員数別】

従業員数	1	2	3	4	5	6
5名以下	23.5%	17.6%	5.9%	29.5%	5.9%	17.6%
6～20名	17.6%	26.5%	38.3%	2.9%		14.7%
21～50名	28.6%	42.8%	19.0%	4.8%		4.8%
51～100名	38.5%	38.5%	23.0%			
101～200名	40.0%	40.0%				20.0%
201名以上	25.0%	25.0%	12.5%			37.5%
全体	25.5%	30.7%	22.4%	7.1%	1.0%	13.3%



【設問5】(設問4で「既に後継者を決めている」「後継者候補はいる」を選択)  
後継者候補との関係について (n=55)

1	子	43社	72.8%
2	その他親族	8社	13.6%
3	子の配偶者	5社	8.5%
4	自社の社員・従業員(親族外)	2社	3.4%
5	その他(先代のご子息)	1社	1.7%
6	社外から登用	0社	0.0%
7	兄弟・姉妹	0社	0.0%

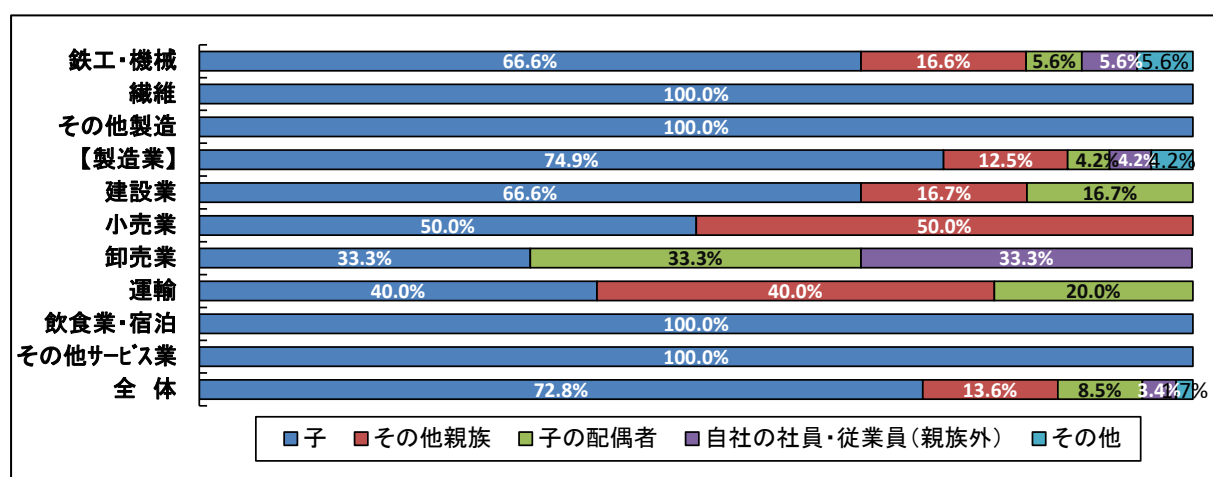


① と②が2件、①と③が1件、②と③が1件、複数回答あり

後継者候補との関係について、全体において割合の高い順に、「子」72.8%、「その他親族」13.6%、「子の配偶者」8.5%と続き、合わせて94.9%の企業が親族に決めている。業種別において、繊維、その他製造、飲食業・宿泊、その他サービス業が100.0%「子」に決めている。

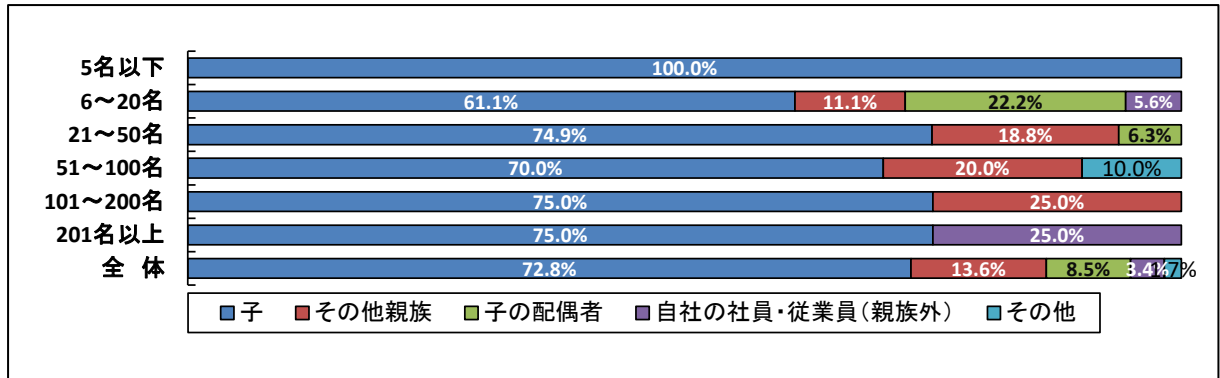
### 【業種別】

業種	1	2	3	4	5	6	7
鉄工・機械	66.6%	16.6%	5.6%	5.6%	5.6%		
繊維	100.0%						
その他製造	100.0%						
【製造業】	74.9%	12.5%	4.2%	4.2%	4.2%		
建設業	66.6%	16.7%	16.7%				
小売業	50.0%	50.0%					
卸売業	33.3%		33.3%	33.3%			
運輸	40.0%	40.0%	20.0%				
飲食業・宿泊	100.0%						
その他サービス業	100.0%						
全体	72.8%	13.6%	8.5%	3.4%	1.7%	0.0%	0.0%



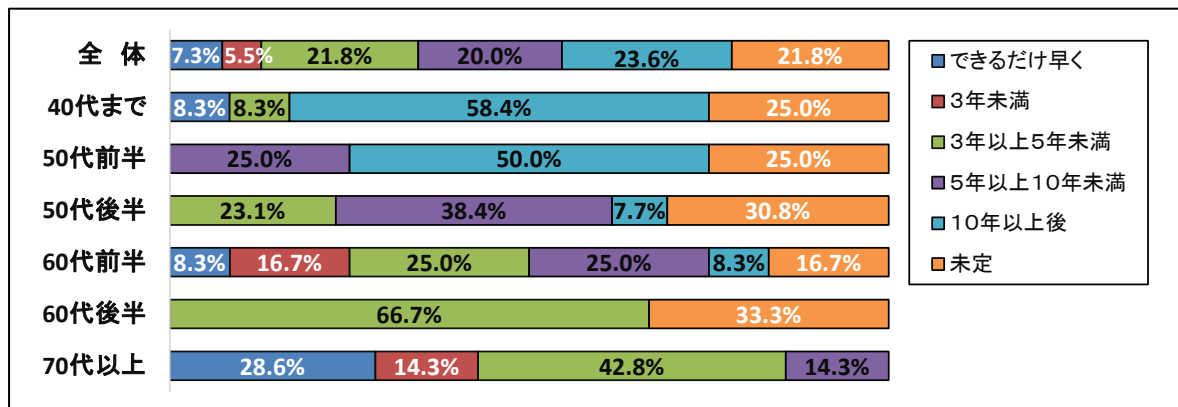
### 【従業員数別】

従業員数	1	2	3	4	5	6	7
5名以下	100.0%						
6～20名	61.1%	11.1%	22.2%	5.6%			
21～50名	74.9%	18.8%	6.3%				
51～100名	70.0%	20.0%			10.0%		
101～200名	75.0%	25.0%					
201名以上	75.0%			25.0%			
全体	72.8%	13.6%	8.5%	3.4%	1.7%	0.0%	0.0%



【設問6】(設問4で「既に後継者を決めている」「後継者候補はいる」を選択)  
事業承継の完了予定時期について (n=55)

		現経営者の現在の年齢						
		全体	40代 まで	50代 前半	50代 後半	60代 前半	60代 後半	70代 以上
1	できるだけ早く	4社 7.3%	8.3%			8.3%		28.6%
2	3年未満	3社 5.5%				16.7%		14.3%
3	3年以上5年未満	12社 21.8%	8.3%		23.1%	25.0%	66.7%	42.8%
4	5年以上10年未満	11社 20.0%		25.0%	38.4%	25.0%		14.3%
5	10年以上後	13社 23.6%	58.4%	50.0%	7.7%	8.3%		
6	未定・無回答	12社 21.8%	25.0%	25.0%	30.8%	16.7%	33.3%	



事業承継の完了予定時期について、現経営者の年代が高くなる程「できるだけ早く」「3年未満」の割合が高くなり、年代が若い企業は、「10年以上後」の割合が高い。

【設問7】事業承継の課題について（複数回答可）（n=99）

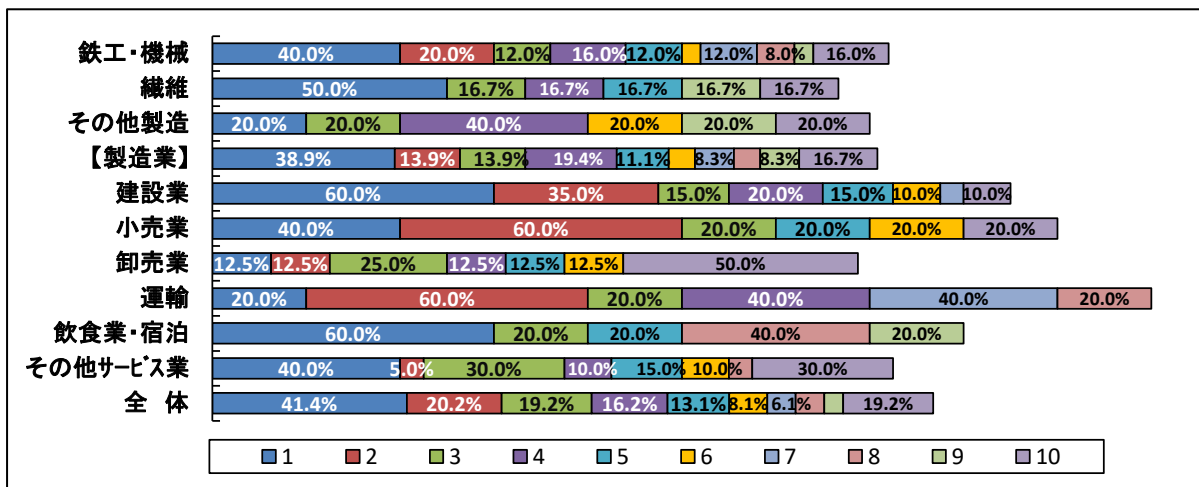
1	後継者教育	41社	41.4%	41.4%
2	後継者への株式譲渡	20社	20.2%	20.2%
3	借入金・債務保証の引継ぎ	19社	19.2%	19.2%
4	取引先との関係維持	16社	16.2%	16.2%
5	後継者の探索・確保	13社	13.1%	13.1%
6	自社株の評価	8社	8.1%	8.1%
7	分散した株式の集約	6社	6.1%	6.1%
8	古参従業員の処遇	6社	6.1%	6.1%
9	その他	4社	4.0%	4.0%
10	特になし(無回答3社含む)	19社	19.2%	19.2%

※その他

候補者がまだ学生なので具体的な案はない（繊維）
現在、投資会社が経営（その他製造）

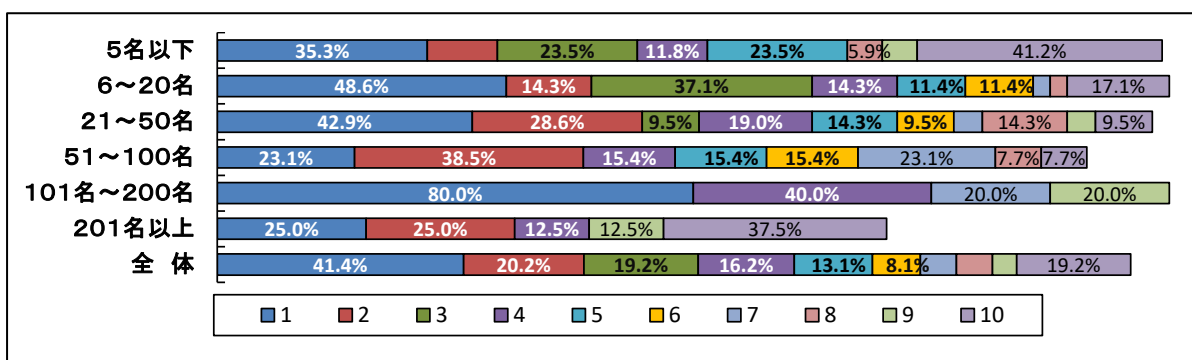
【業種別】

業種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
鉄工・機械	40.0%	20.0%	12.0%	16.0%	12.0%	4.0%	12.0%	8.0%	4.0%	16.0%
繊維	50.0%		16.7%	16.7%	16.7%				16.7%	16.7%
その他製造	20.0%		20.0%	40.0%		20.0%			20.0%	20.0%
【製造業】	38.9%	13.9%	13.9%	19.4%	11.1%	5.6%	8.3%	5.6%	8.3%	16.7%
建設業	60.0%	35.0%	15.0%	20.0%	15.0%	10.0%	5.0%			10.0%
小売業	40.0%	60.0%	20.0%		20.0%	20.0%				20.0%
卸売業	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%				50.0%
運輸	20.0%	60.0%	20.0%	40.0%			40.0%	20.0%		
飲食業・宿泊	60.0%		20.0%		20.0%			40.0%	20.0%	
その他サービス業	40.0%	5.0%	30.0%	10.0%	15.0%	10.0%		5.0%		30.0%
全体	41.4%	20.2%	19.2%	16.2%	13.1%	8.1%	6.1%	6.1%	4.0%	19.2%



### 【従業員数別】

従業員数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5名以下	35.3%	11.8%	23.5%	11.8%	23.5%			5.9%	5.9%	41.2%
6～20名	48.6%	14.3%	37.1%	14.3%	11.4%	11.4%	2.9%	2.9%		17.1%
21～50名	42.9%	28.6%	9.5%	19.0%	14.3%	9.5%	4.8%	14.3%	4.8%	9.5%
51～100名	23.1%	38.5%		15.4%	15.4%	15.4%	23.1%	7.7%		7.7%
101～200名	80.0%			40.0%			20.0%		20.0%	
201名以上	25.0%	25.0%		12.5%					12.5%	37.5%
全体	41.4%	20.2%	19.2%	16.2%	13.1%	8.1%	6.1%	6.1%	4.0%	19.2%



事業承継の課題について、全体において割合の高い順に、「後継者教育」41.4%、「後継者への株式譲渡」20.2%、「借入金・債務保証の引継ぎ」19.2%と続く。その他では、業種別でみると、運輸が、「取引先との関係維持」「分散した株式の集約」それぞれ40.0%、飲食業・宿泊が、「古参従業員の処遇」40.0%の割合が高かった。従業員数別でみると、「取引先との関係維持」が、101～200名40.0%、「特になし」が、5名以下41.2%、201名以上37.5%の割合が高かった。

### 【設問8】事業承継の施策・支援について興味のある内容について(複数回答可) (n=99)

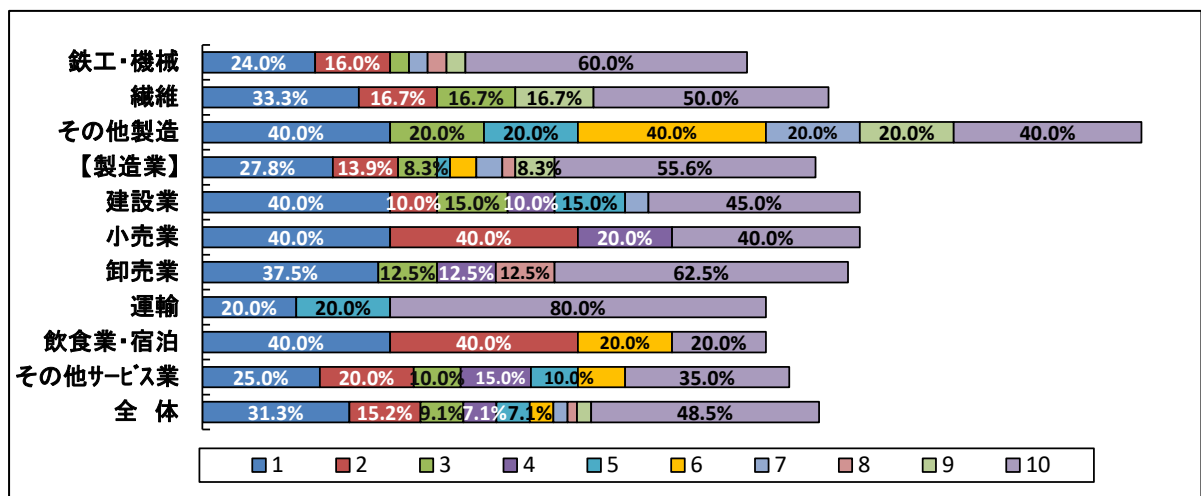
1	事業承継に関する情報収集	31社	31.3%	31.3%
2	事業承継セミナー	15社	15.2%	15.2%
3	事業承継に関する金融相談	9社	9.1%	9.1%
4	円滑な廃業に関する相談	7社	7.1%	7.1%
5	事業承継の窓口相談	7社	7.1%	7.1%
6	専門家(税理士・弁護士等)の派遣	5社	5.1%	5.1%
7	後継者とのマッチング	3社	3.0%	3.0%
8	事業売却等の支援	2社	2.0%	2.0%
9	その他	3社	3.0%	3.0%
10	特になし・無回答	48社	48.5%	48.5%

### ※その他

候補者がまだ学生なので具体的な話はまだない(繊維)
M&A全般に関し、相談できる方を知りたい(その他製造)

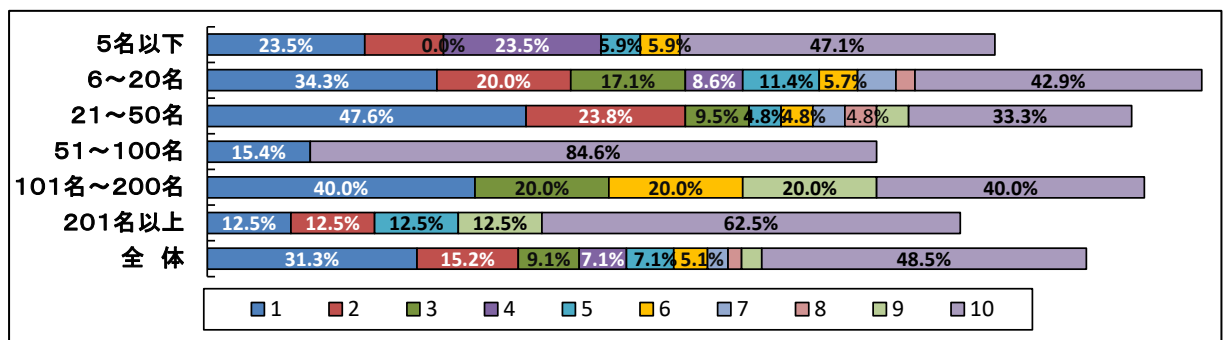
【業種別】

業種	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
鉄工・機械	24.0%	16.0%	4.0%				4.0%	4.0%	4.0%	60.0%
繊維	33.3%	16.7%	16.7%						16.7%	50.0%
その他製造	40.0%		20.0%		20.0%	40.0%	20.0%		20.0%	40.0%
【製造業】	27.8%	13.9%	8.3%		2.8%	5.6%	5.6%	2.8%	8.3%	55.6%
建設業	40.0%	10.0%	15.0%	10.0%	15.0%		5.0%			45.0%
小売業	40.0%	40.0%		20.0%						40.0%
卸売業	37.5%		12.5%	12.5%				12.5%		62.5%
運輸	20.0%				20.0%					80.0%
飲食業・宿泊	40.0%	40.0%				20.0%				20.0%
その他サービス業	25.0%	20.0%	10.0%	15.0%	10.0%	10.0%				35.0%
全体	31.3%	15.2%	9.1%	7.1%	7.1%	5.1%	3.0%	2.0%	3.0%	48.5%



【従業員数別】

従業員数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5名以下	23.5%	11.8%	0.0%	23.5%	5.9%	5.9%				47.1%
6～20名	34.3%	20.0%	17.1%	8.6%	11.4%	5.7%	5.7%	2.9%		42.9%
21～50名	47.6%	23.8%	9.5%		4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	33.3%
51～100名	15.4%									84.6%
101～200名	40.0%		20.0%			20.0%			20.0%	40.0%
201名以上	12.5%	12.5%			12.5%					62.5%
全体	31.3%	15.2%	9.1%	7.1%	7.1%	5.1%	3.0%	2.0%	3.0%	48.5%



事業承継の施策・支援について興味のある内容について、全体において割合の高い順に「事業承継に関する情報収集」31.3%、「事業承継セミナー」15.2%、「事業承継に関する金融相談」9.1%と続く。

## ■ その他、意見・要望

①工場の建て替え（鉄工・機械）
②事業継承を速やかに行いたい。現在、株式を昨年から5年間で渡す作業を行っている（鉄工・機械）
③技能実習から特定技能への移行が、今回も繊維は認められず、人材不足がひっ迫している今、とても残念でならない。関連機関等に尽力して頂き、特定技能への早期移行を強く希望します（繊維）
④中期的展望に立ち、後継者を探したい（建設業）
⑤自分への継承の途中なので、次まで手が回らない（卸売業）
⑥経済学の大先生がデフレにすれば、国がつぶれるから、絶対ないと教えられたことを思い出します。陽はまた登る。よく持ちこたえたものだと感じた（卸売業）
⑦我々の時代と感覚が違うのと、これからの時代の流れがどうなってゆくのか、私の頭ではわからない（運輸）
⑧コロナが終わり、好景気になってきている気がする（飲食業・宿泊）

## 会議所コメント：

### ①②④⑤

本所では、金融あっせんや創業支援、また事業所の課題解決のニーズに合わせた個別相談を実施しています。また、会報やHP・SNSを活用して補助金・助成金等の情報提供を行っています。その他、調査研究、経営に関する最新情報のご提供やセミナー・検定試験などによるスキルアップ、青年部活動や女性会活動などヒューマンネットワークづくりをお手伝いします。

また、行政の関連部署や石川県産業創出支援機構（ISICO）等と連携を図り、会員事業所の要望にお応えすべく対応して参ります。

### ③⑥⑦⑧

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

## 【メールマガジン配信中！】

会員事業所の皆様に、当所の講習会や補助金・助成金情報のほか、融資制度や各種イベント情報などをタイムリーにお届けするメールマガジンを始めました。ご購入は無料ですので、ぜひご登録ください。

※こちらのQRコードからご登録ください。

